

町長の行政報告

畑作物の生育及び収穫状況について

8月末現在の畑作物の生育及び収穫状況につきまして、小麦の収穫であります。今年より7日早く7月22日から刈り取りが始まり、同じく7日早い7月31日に収穫を完了しております。収量については、現在製品の乾燥調製を行っているところであり、収穫前の少雨の影響が心配されましたが、推定製品としては8.4俵とほぼ

昨年並みを見込んでおります。甜菜は、植え付け以降、順調に生育が進み、現在は9日程度生育が進んでいる状況であります。スイートコーンは8月21日から早生（わせ）品種の収穫が始まり、生育状況についても例年より実が大きい傾向にあります。また、紫蘇は播種後の干ばつにより、

発芽が遅れた圃場では、今年より草丈が短く収量低下が懸念されますが、その他畑作物に関しては、概ね例年より生育が進んでいる状況であります。



今年は順調だね～作況調査～

一方飼料作物では、牧草は一番草が5月後半から6月前半の少雨の影響を強く受け、収量が平年比64%とかなり少ない状況にありましたが、二番草は7月中旬以降の降水により生育が進み、収量調査結果から平年比102%の収量が確認されました。また、二番草収穫作業ですが、前半は順



調に進みましたが、8月後半の周期的な雨のため収穫作業が停滞し、今年並みの9月上旬までかかる見込みです。更に、デントコーンの収量については、今年並みが予想されている一方、品質は実の成熟が10日程度進んでいることから、収穫が平年より早まると予想されます。草丈は今年並みに達していませんが、茎がやや細いため、台風の影響による倒伏が心配されます。このため、粗飼料全体としては、一番草の収量減をどこまで二番草とデントコーンで取り返すことができるか、今後の状況を注視していく必要があります。

北海道滝上高等学校跡への滝上中学校校舎移転について

現在の滝上中学校校舎の老朽化が著しく、北海道滝上高等学校跡の利用について北海道と協議を進めてきたところであり、現在、旧滝上高等学校は北海道の屋上防水等機能維持回復のための建築工事が行われております。

本町としましては、機能維持回復のための工事が終了後、北海道滝上高等学校校舎等を取得し、中学校として使用するために必要な技術科室等を設置したうえで、令和3年4月移転し授業を開始したいと考えています。なお、現在の滝上中学校校舎については、平成14年と平成27年に耐震化を含めた大規模改修を行っています

が、老朽化が著しいことや土砂災害警戒区域に隣接していることから、令和5年以降に財政状況を勘案しながら解体したいと考えています。

また、高校公宅14戸について購入したいと考えています。現中学校教員は14名で、今後ともそれほど増減はない見込みですので、中学校の教員住宅として活用していきたいと考えており、2力年に分けて購入し、教職員の異動も踏まえた中で、順次、購入した住宅に入居していただくことを考えています。なお、空き家になった住宅については財政状況にもよりますが、町職員住宅と教員住宅で調整しながら、使用に耐えやすい住宅については順次、解体していきたいと考えています。